

あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地の2
（群馬県勤労福祉センター2F）
TEL.027-263-0555（代）
FAX.027-261-0549
Eメール：info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL：http://www.rengo-gunma.gr.jp/

発行人 清村宗一
編集人 松本 伸

2006年1月号
No.147



新春インタビュー 大橋会長に聞く

今年も成長・前進・感謝のキーワードで!

—あけましておめでとうございます。大橋会長はどのようなお正月を迎えられましたか。

新年あけましておめでとうございます。

年末の行事や事業を終えて“やれやれ”というのが実情です。これから、本格化する春季生活闘争の展望や市町村合併に関わるそれぞれの課題への対応、行政改革、更には労働に関する法など、山ほどある課題について、静かに考えたいとは思っていましたが、・・・気がついてみると今年もスタートしているんですね。街中は寒くても“犬”のごとく走らないと・・・。



▲大橋会長 連合群馬応接室

—さて、会長就任1年が経ちました。昨年を振り返っていかがでしたか。

昨年は第9期のスタートであったわけですが、これまでの活動を礎に50万人署名、大増税反対行動、ふれあいフェスティバルなどの取り組みを展開しました。着実に群馬の地で“連合群馬”の存在感や影響力は拡大していると実感しています。この場を借りて、構成組織や地協の皆さんが“力合わせ、心合わせ”を軸にした活動にご尽力いただいたことに感謝申し上げます。

—昨年10月の年次大会で「留まることは停滞することと同様・・・」とおっしゃっていました。どのような気持ちを込めて述べられたのでしょうか。

私たちを取り巻く環境はかつてないほどのスピードで変化しています。以前と同じことをやっているのであれば、それは変化から遅れをとっていることと同じです。

変化を見極め、一歩先を捉えなければそれは現状に留まることであり、停滞と同様と考えています。この時流に乗って一歩先を歩むことが大切です。

経営活動も組合活動においても変化をし続けることが必要と日頃から考えています。もちろん、変えてはいけなこともたくさんありますが・・・。

取り巻く環境は厳しく、そして大きく変化をしておりますが、その変化の中で労働運動に関われることを“やりがい”としたいですね。

—昨年、「新語・流行語大賞」に『小泉劇場』が年間大賞となりました。どう思いますか。

そうですね・・・「悔しい」「残念」の気持ちが先に立ちます。選挙は私たち生活者・働くものの声を政治の場に反映できる唯一の場です。先の衆議院選挙や昨今の税制改悪案等の方向をみるに、シナリオ通りになってしまっています。この現実を真摯に受け止め、連合群馬としてしっかり対応していかなければならないと考えています。

—では最後に「一年の計は元旦にあり」といいます。つまり、今年の「目標」は!

私たち勤労者・生活者がより幸せな日常生活が過ごせる社会づくりを目標に“勤労者を代表する連合群馬”として『労働・経営・行政』の三位一体による地域に根ざした活動に邁進したいと思えます。

私自身は、「成長」「前進」「感謝」の三つを“大橋キーワード”として参ります。

—本日はありがとうございました。

